

株式会社ツムラ
2017年度第2四半期決算説明会
(2017年4月1日~2017年9月30日)

2017年11月9日 (木)

代表取締役社長

加藤 照和

長期経営ビジョン実現へのロードマップ



HOP

価値創造に向けた
成長基盤の強化

STEP

“漢方”のイノベーションによる
新たな価値の創造

JUMP

第1期中期経営計画

第2期中期経営計画

第3期中期経営計画

2012

2015

2016

2018

2019

2021

(年度)

中期経営計画

戦略課題

1. 漢方市場の拡大と安定成長
2. 収益力の継続強化とキャッシュ・フローの最大化
3. **中国における新規ビジネスへの挑戦**

2021年ビジョンの中間点

長期経営ビジョン～2021年ビジョン～

“KAMPO”で人々の健康に寄与する価値創造企業を目指して

“漢方”

のツムラ

国内のどの医療機関・診療科においても、患者様が必要に応じて“漢方”を取り入れた治療を受けられる医療現場の実現に貢献

漢方市場の拡大
コスト構造改革

漢方市場の拡大

- ・エビデンスの構築
- ・漢方医学教育財団の設立
- ・薬価問題への対応

コスト構造改革

- ・労働生産性の向上
- ・生薬の安定調達体制

“人”

のツムラ

世界に手本のない“漢方”ビジネスにおいて、自らが新しい道を開拓でき、誰からも信頼される“人”の企業集団へ

人財育成
理念の浸透

“人”のツムラづくり

- ・中国子会社人財育成（5年間継続実施）
 - ・各種研修の増強
- 理念の浸透

- ・幹部オサレ・ミーティング
- ・創業125周年イベント

“グローバル・ニッチ”

のTSUMURA

ツムラグループの持つ技術・ノウハウを最大限活用し、米国におけるTU-100（大建中湯）の開発・上市、中国における新規ビジネスへの挑戦

米国開発
中国市場 開拓

米国開発

- ・TU-100のフェーズⅡ（前期）（2018年度：開発方針決定）

中国市場 開拓

- ・中薬事業への参入
- ☆中国平安保険資本業務提携

中国平安保険との資本業務提携の概要

株式会社ツムラ

発行新株式数	5,986,700株
処分自己株式数	1,689,200株
調達資金額	27,322,366,050円

(処分後の自己株式数：300,182株)

平安保険（集団）股份有限公司

平安人寿保险股份有限公司
(株式割当先)

BANK OF CHINA (HK) LIMITED -
CUSTODY ACCOUNT
取得株式数：7,675,900株
(発行済株式総数の10.00%)

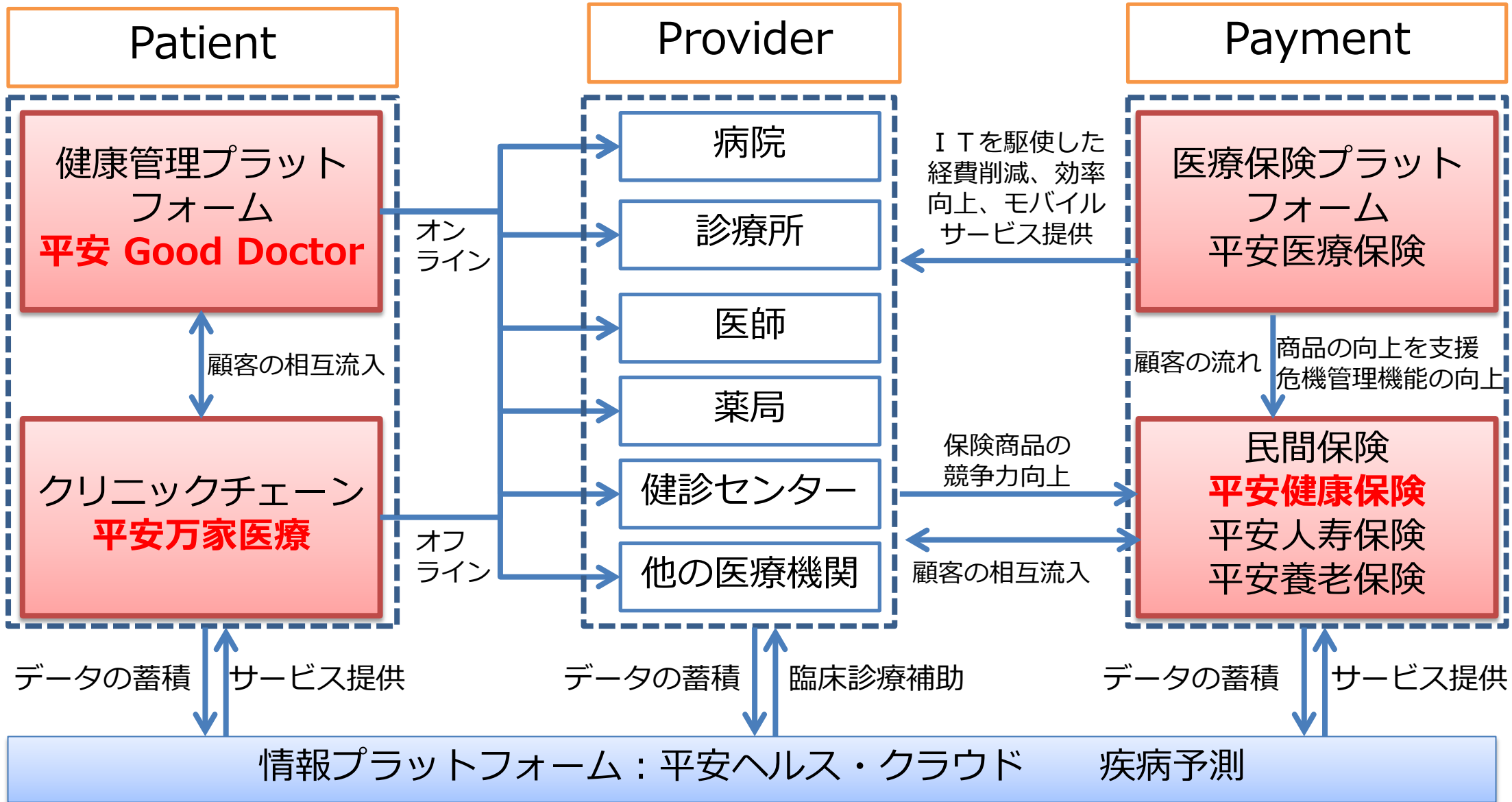
【合意事項】

業務提携契約の締結期間中、中国平安保険は当社の同意なく保有比率を上げること、ならびに当社への役員派遣を求めること、は行わない。

【資本業務提携の概要】

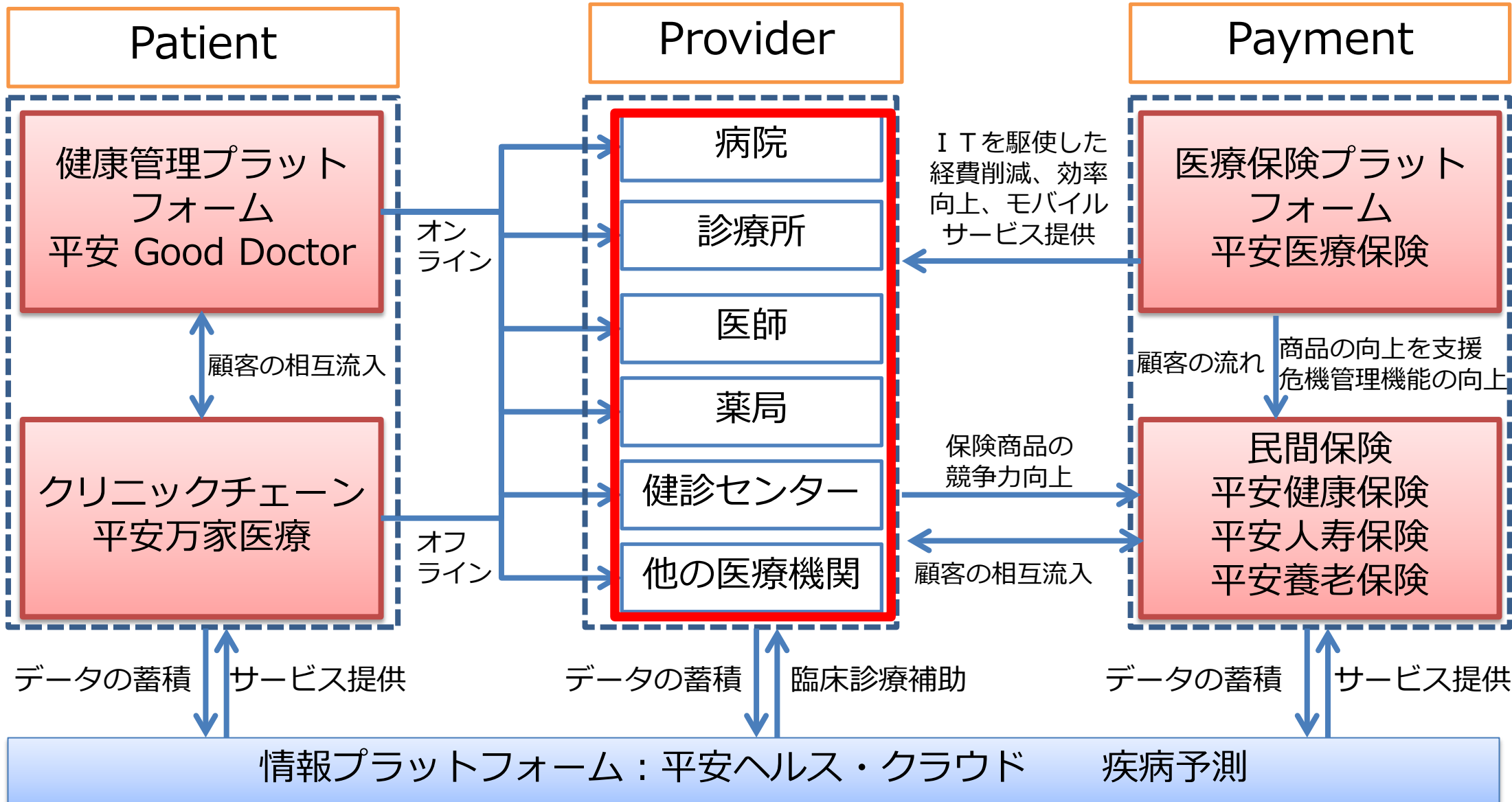
当社及び中国平安保険は、中国における中薬産業の更なる発展を推進して、中国国民の医療と健康に貢献するとともに、中薬の品質標準及び生薬栽培から最終製品までを網羅するビジネスモデルを構築する。また同時に、中国国内の生薬の品質向上や生薬資源の保護に寄与しつつ、当社の生薬原料の安定調達にもつながることから資本業務提携締結。当社グループの事業成長への投資であり企業価値向上に寄与するものである。

中国平安保険のヘルスケア戦略概要



中国平安保険グループによるサービス提供

中国平安保険のヘルスケア戦略概要



中国平安保険グループによるサービス提供

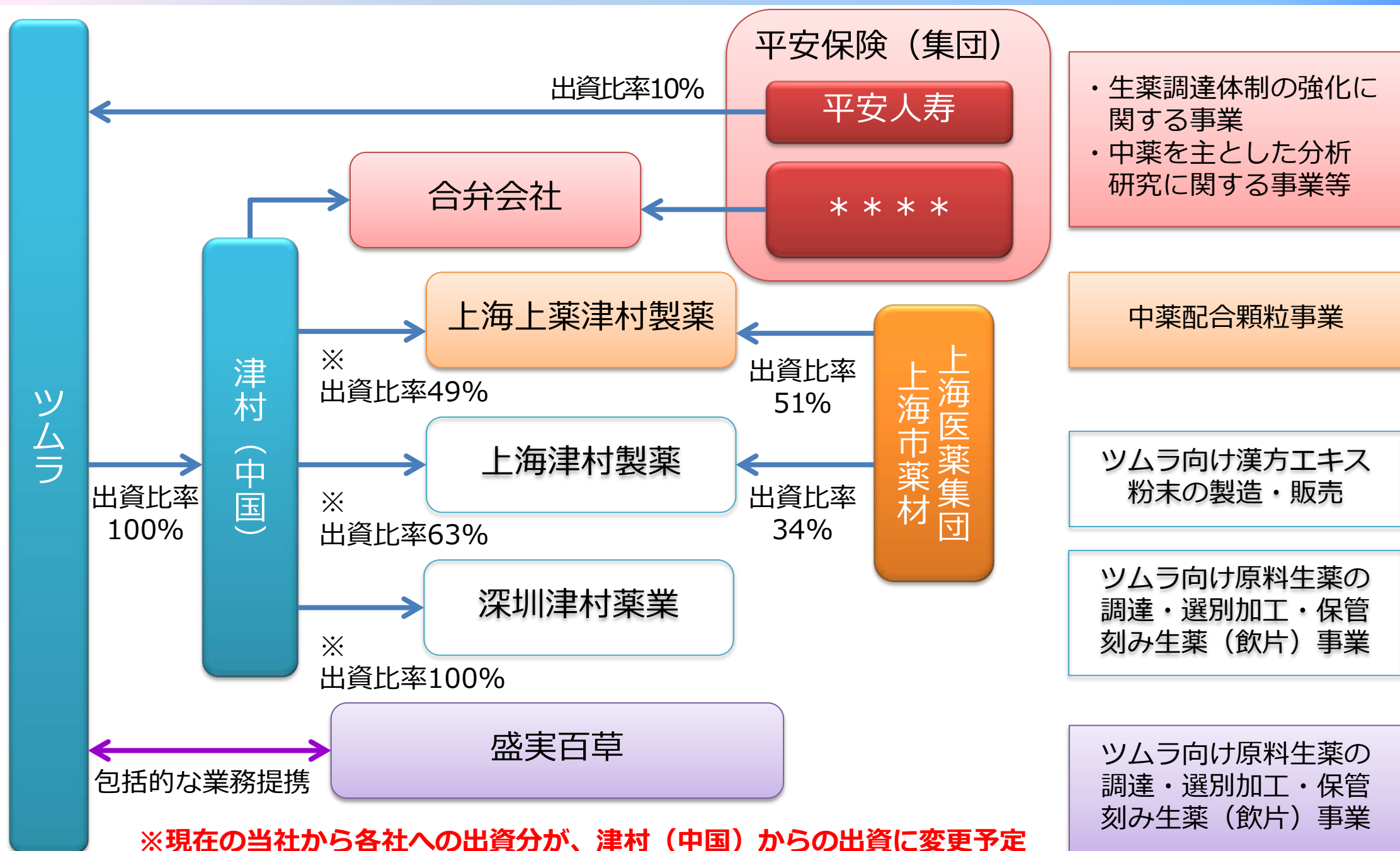
中国平安保険との合併会社設立（予定）

当社は、中国平安保険との間で中国にて合併会社を設立し、当該合併会社を通じて、以下の事業を展開する予定です。

合併会社の主たる事業内容

① 生薬調達体制の強化に関する事業	栽培用地の確保、栽培技術の開発、生薬の加工場の建設・整備、加工技術の開発等
② 中薬を主とした分析研究に関する事業	中薬を主とした分析研究センター設立、分析研究技術の開発及び分析試験の受託等
③ 中薬、健康食品、ヘルスケア関連日用品及びその他業務分野に関する事業	漢方製剤の製造ノウハウを活用し、中薬等の製造販売事業の展開を計画

中国事業の将来概要図



中国事業の製品イメージ

飲片 (刻み生薬)

原料生薬



切裁工程など



飲片



中薬配合顆粒

原料生薬



切裁工程などを経て「飲片」に



抽出・分離・濃縮



SS 製造工程 省略

顆粒



(イメージ)

中医学に基づくエキス製剤 (中薬・中成薬)

原料生薬



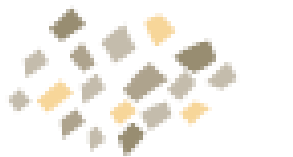
(イメージ)

上記同様、飲片



(イメージ)

秤量・調合



(イメージ)

抽出・分離・濃縮



(イメージ)

SS 製造工程 省略

顆粒などの製剤



(イメージ)

2017年度第2四半期決算

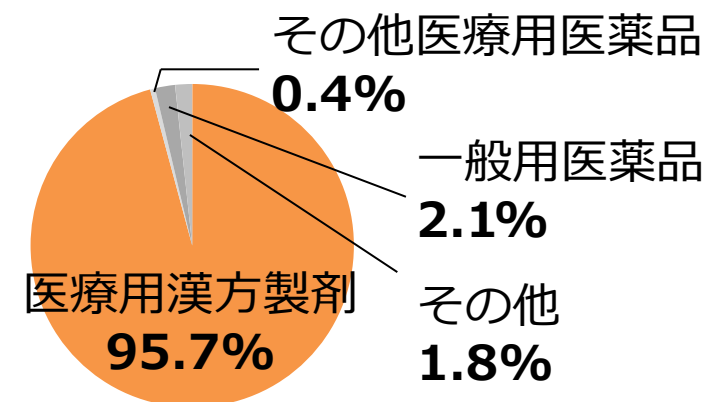
2017年度第2四半期決算の概要

(百万円)

	2017年度 2Q計画	2017年度 2Q実績	達成率	2016年度 2Q実績	前年同期比	
					金額	伸長率
連結売上高	58,600	58,282	99.5%	56,359	1,923	3.4%
営業利益 (営業利益率)	8,200 (14.0%)	8,985 (15.4%)	109.6%	7,868 (14.0%)	1,116	14.2%
経常利益	8,400	9,248	110.1%	7,366	1,882	25.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,100	6,614	108.4%	5,311	1,302	24.5%

	2017年度 2Q計画	2017年度 2Q実績	2016年度 2Q実績
配当金 (1株当たり)	32円	32円	32円

売上高構成比



決算のポイント

▶ 売上目標未達も増収・増益の決算

連結売上高 **58,282 百万円** **計画達成率** **99.5%** **前年同期比** **3.4%**

□ 医療用漢方製剤129処方、前年同期比3.4%増加、金額ベースで77処方が売上伸張となった。

□ 一般用医薬品は、薬局用漢方を中心に前年同期比6.3%増加となった。

営業利益 **8,985 百万円** **計画達成率** **109.6%** **前年同期比** **14.2%**

営業利益率 **15.4 %** **前年同期比** **+ 1.4pt**

□ 売上原価率は、生産量増加等による加工費の改善により、前年同期比1.1ポイント低下の41.9%。
生薬費および新製造棟立ち上げに伴う一時的な生産能力の差異により計画に対しては、0.3ポイント上回った。

□ 販管費率は、業務効率化に伴う経費抑制等により前年同期比0.3ポイント低下の42.7%。

計画に対しては、経費抑制と研究費等の支払時期ズレ等により、11億円1.7ポイント下回った。

経常利益 **9,248 百万円** **計画達成率** **110.1%** **前年同期比** **25.6%**

親会社株主に帰属する
四半期純利益 **6,614 百万円** **計画達成率** **108.4%** **前年同期比** **24.5%**

医療用漢方製剤の売上状況

(百万円)

順位		製品No./処方名	主な効能又は効果	2016年度 2Q実績	2017年度 2Q実績	前年同期比	
1	育	100 大建中湯	腹痛、腹部膨満感	5,212	5,351	138	2.7%
2	育	54 抑肝散	神経症、不眠症など	3,712	3,864	151	4.1%
3	G	41 補中益気湯	病後の体力増強、食欲不振など	3,630	3,699	68	1.9%
4	育	43 六君子湯	胃炎、消化不良、食欲不振など	3,431	3,577	146	4.3%
5	G	68 芍薬甘草湯	筋肉の痙攣を伴う疼痛など	2,506	2,660	153	6.1%
6	G	24 加味逍遙散	冷え症、月経不順、更年期障害など	2,258	2,342	84	3.7%
7	G	29 麦門冬湯	咳、気管支炎、気管支喘息	1,986	2,002	16	0.8%
8	G	17 五苓散	浮腫、下痢、頭痛、暑気あたりなど	1,715	1,921	206	12.0%
9	育	107 牛車腎気丸	下肢痛、腰痛、しびれ、排尿困難など	1,901	1,889	-12	-0.6%
10		114 柴苓湯	急性胃腸炎、むくみなど	1,771	1,812	40	2.3%
21	育	14 半夏瀉心湯	醗酵性下痢、神経性胃炎、口内炎など	642	692	49	7.8%
育薬5処方合計				14,900	15,375	474	3.2%
Growing5処方合計				12,097	12,627	529	4.4%
医療用漢方製剤129処方合計				53,974	55,784	1,810	3.4%

育：育薬処方、G：Growing処方

売上要因分析

中期経営計画における重点3領域

高齢者関連領域

がん領域（支持療法）

女性関連領域

集中化・重点化

消化器領域

（六君子湯、大建中湯、半夏瀉心湯など）

◆集中化領域：“MRカ”（育薬処方など）

六君子湯・大建中湯など新規エビデンス

売上要因分析（六君子湯）

(百万円)

2021年度売上目標：100億円超

	前2Q	当2Q	前年同期比	
売上高	3,431	3,577	146	4.3%

ターゲティング：胃腸運動促進剤

1. 六君子湯の様々な薬理作用

胃適応性弛緩に対する作用（モルモット、ヒト他）
 グレリン分泌促進作用（食欲改善）（ラット、ヒト）
 胃排出能促進作用（ヒト）
 消化管運動正常化作用（ラット、ヒト）
 ストレス性消化管機能障害改善作用（マウス、ヒト）
 胃粘膜血流改善作用（モルモット、ラット）
 胃酸知覚過敏亢進抑制作用（ラット）
 食道酸クリアランス改善作用（ヒト）

2. 最新のエビデンス

DREAM Study：
 FD（機能性ディスぺプシア）に関する
 臨床試験【DDW2017にて発表】

ターゲティング戦略

上期
 施設別アプローチ

リアルワールド
 データの活用

下期
 医師別アプローチ

製品教育

支店長・営業所長

課長

六君子湯の作用機序

消化管運動正常化作用
(ラット、ヒト)

胃適応性弛緩に対する作用
(モルモット、ヒト他)

胃排出能促進作用
(ヒト)

グレリン分泌促進作用
(食欲改善) (ラット、ヒト)

食道酸クリアランス
改善作用 (ヒト)

胃酸知覚過敏亢進
抑制作用 (ラット)

胃粘膜血流改善作用
(モルモット、ラット)

ストレス性消化管機能
障害改善作用 (マウス、ヒト)



売上要因分析（六君子湯）

(百万円)

2021年度売上目標：100億円超

	前2Q	当2Q	前年同期比	
売上高	3,431	3,577	146	4.3%

ターゲティング：胃腸運動促進剤

1. 六君子湯の様々な薬理作用

- 胃適応性弛緩に対する作用 (モルモット、ヒト他)
- グレリン分泌促進作用 (食欲改善) (ラット、ヒト)
- 胃排出能促進作用 (ヒト)
- 消化管運動正常化作用 (ラット、ヒト)
- ストレス性消化管機能障害改善作用 (マウス、ヒト)
- 胃粘膜血流改善作用 (モルモット、ラット)
- 胃酸知覚過敏亢進抑制作用 (ラット)
- 食道酸クリアランス改善作用 (ヒト)

2. 最新のエビデンス

DREAM Study :
FD (機能性ディスペプシア) に関する
臨床試験【DDW2017にて発表】

ターゲティング戦略

施設別アプローチ

リアルワールド
データの活用

医師別アプローチ

製品教育

支店長・営業所長

課長

上期

下期

売上要因分析（大建中湯・半夏瀉心湯）

(百万円)

製品No./処方名		前2Q	当2Q	前年同期比	
100	大建中湯	5,212	5,351	138	2.7%
14	半夏瀉心湯	642	692	49	7.8%

大建中湯

- 消化器外科の専門医に対するアプローチを強化するため、学会イベント実施により、トップオーソリティによるエビデンス情報を発信。前年同期比はプラス伸長率となったが、計画達成には届かなかった。
- 慢性便秘症診療ガイドラインが10月に発刊され、下期活動を強化していく。

半夏瀉心湯

- 前期の「使用上の注意」改訂の情報伝達の活動の結果、抗がん剤治療の副作用である口内炎に対する使用事例が増加した。
- ガイドライン収載に向けたエビデンス集積を継続。

新領域展開（仕組み）の対応策

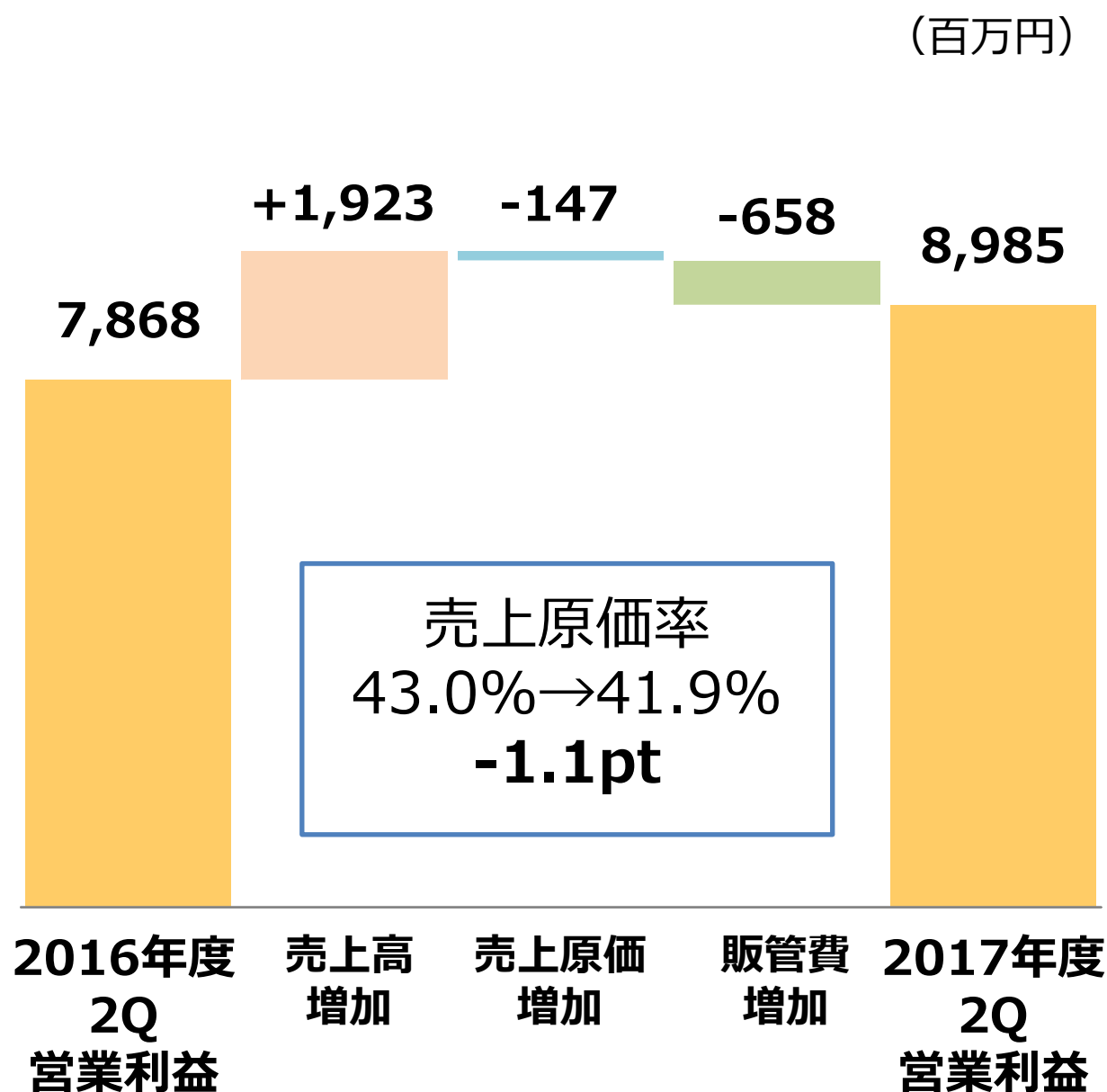
学会との新たな連携

- ・ 栄養関連学会における教育プログラムへの参画
- ・ 9月～12月にかけて7回実施
- ・ 補中益気湯などの補剤*を中心に展開

*補剤：衰えた心身のエネルギーを再び蓄える為に使用する処方

製品No.	処方名	効能又は効果
41	補中益気湯	消化機能が衰え、四肢倦怠感著しい虚弱体質者の次の諸症： 夏やせ、病後の体力増強、結核症、食欲不振、胃下垂、感冒、痔、脱肛、子宮下垂、陰萎、半身不随、多汗症

営業利益の増減要因（前年同期比較）



(百万円)

売上高増減内訳	
医療用漢方製剤129処方	+1,810
その他	+113
売上原価率増減内訳	
生薬関連コスト	+0.1pt
加工費の改善	-0.5pt
為替の影響	-0.4pt
その他	-0.3pt
販管費増減内訳	
販促費、感謝金	+187
研究開発費	+155
広告宣伝費	-40
人件費	+184
その他	+172

財政状態とキャッシュ・フローの状況

バランスシート

(百万円)

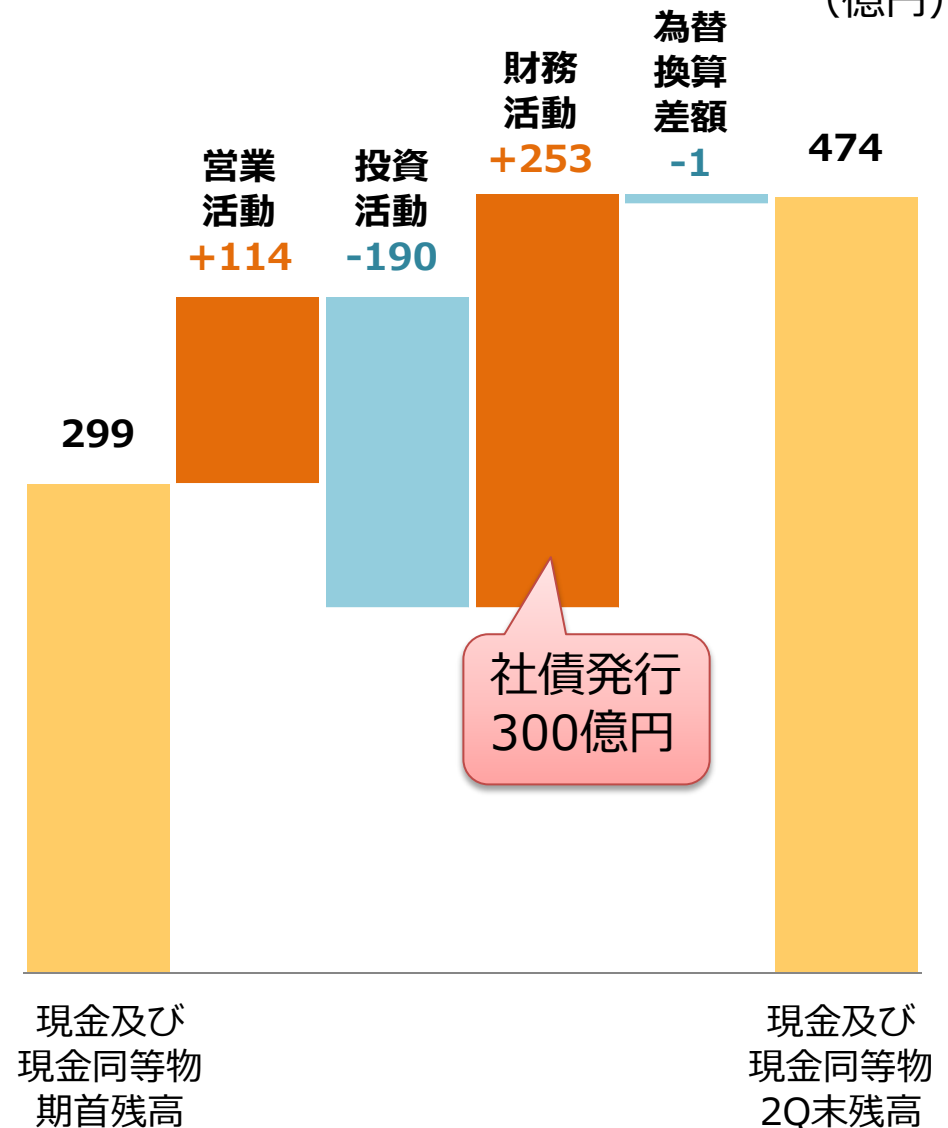
	2017年 3月末	2017年 9月末	増減額
資産合計	222,008	258,464	36,456
流動資産	134,679	166,825	32,146
固定資産	87,329	91,639	4,309
負債合計	64,611	96,014	31,402
流動負債	31,883	48,200	16,316
固定負債	32,727	47,813	15,086
純資産合計	157,397	162,450	5,053
自己資本比率	69.7%	61.8%	-7.9pt

(百万円)

B/S	2017年 3月末	2017年 9月末	比較増減
たな卸資産	52,138	48,887	-3,251
(商品及び製品)	8,122	8,009	-113
(仕掛品)	14,547	12,895	-1,652
(原材料及び貯蔵品)	29,467	27,982	-1,485

キャッシュ・フロー

(億円)



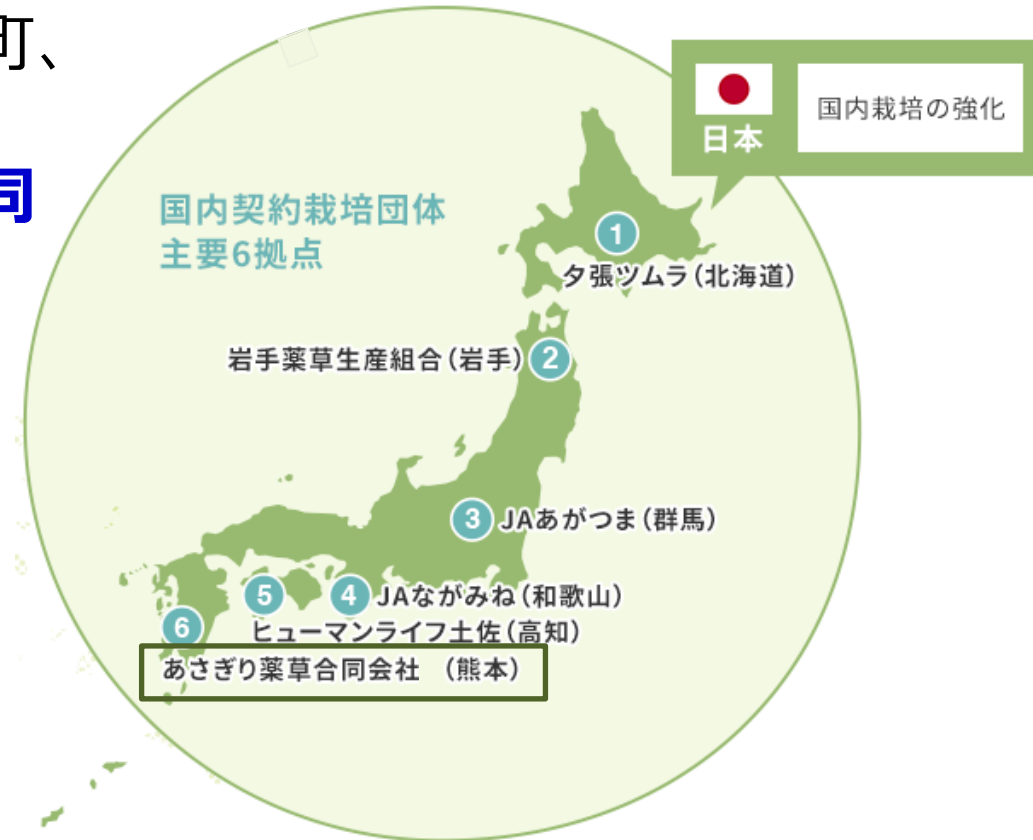
ESG活動のトピックス

あさぎり薬草合同会社 薬草加工所完成（7月）

- あさぎり町 旧深田中学校（廃校）グラウンドに建設
- 延べ床面積962.5㎡
- 鉄骨造平屋建て
- **11月に本稼働予定**
- ◆ 加工所建設費用：熊本県、あさぎり町、人吉・球磨地域市町村が負担
- ◆ **加工に関わる設備：あさぎり薬草合同会社、ツムラが負担**



薬草加工所



「障害者雇用優良事業所等厚生労働大臣表彰」受賞

2017年度「障害者雇用優良事業所等厚生労働大臣表彰」受賞
「障害者雇用優良事業所」に選定されました。

「障害者を積極的に多数雇用している事業所や、職業人として模範的な業績をあげている障害者に対し贈られる」

⇒2017年9月末時点 障がい者雇用率：3.02%

選定の経緯

過去に**理事長表彰**を受賞した事業所から、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が推薦し、厚生労働省が決定。

受賞歴

2011年：独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構理事長努力賞

2014年：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構**理事長表彰**

2017年度業績予想

2017年度業績予想

➤ 2017年5月11日公表の業績予想に変更なし

(百万円)

	2016年度	2017年度 予想	前期比	
			金額	伸長率
連結売上高	114,954	120,700	5,745	5.0%
営業利益 営業利益率	15,983 (13.9%)	17,600 (14.6%)	1,616	10.1%
経常利益	16,399	18,100	1,700	10.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12,488	12,700	211	1.7%

	2016年度	2017年度 予想		
配当金 (1株当たり)	64円	64円	資本業務提携 による影響	
EPS	179円	184円		175円
ROE	8.1%	8.0%		7.4%



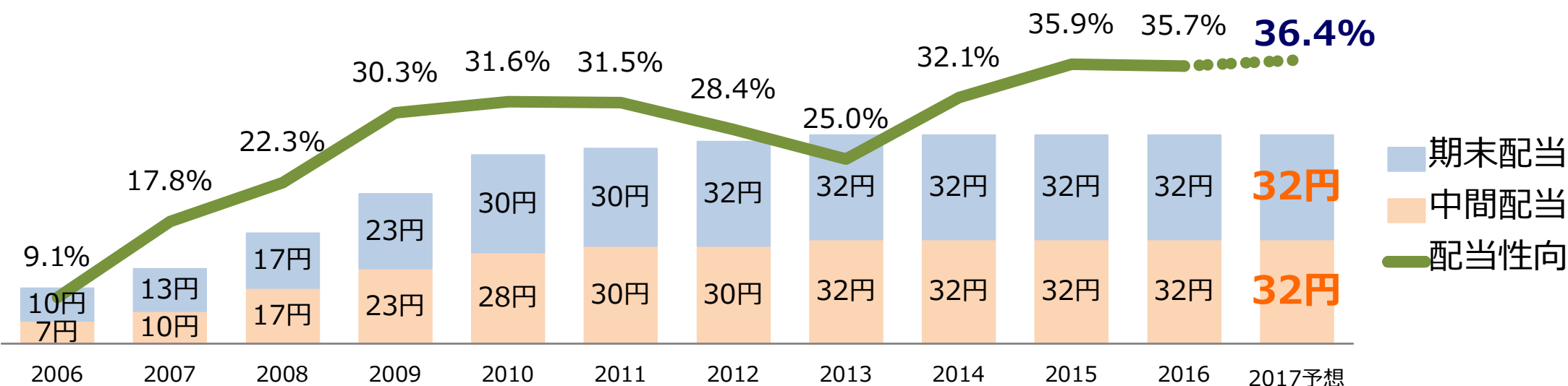
株主還元

株主還元

方針

- “漢方”が持続的に発展・成長するための事業投資を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する
- 最適資本構成の検討・見直しを踏まえた株主還元を努め、市場動向等を総合的に勘案したうえで、機動的な自社株式の取得を実施する

配当金推移



(注) 2017年度の期末配当金および配当性向(予想)は、第82回定時株主総会による配当議案が決議された場合の数値を記載

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ツムラ
コーポレート・コミュニケーション室
I R 推進グループ
TEL : 03-6361-7101

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。